

うするかが一つの課題となろう。

とくに構成比が、全国平均より下まわっている幼稚園、特殊学校の振興計画に見合う教育費配分が課題となろう。

第10表は、学校教育を支出項目別に児童生徒1人当り経費をかかげたものである。

第10表 学校教育費支出項目別生徒1人当り経費  
(全国平均を100とした指数) (昭38 地方教育費調査による)

	小学校	中学校	全日制校	定時制校
学校教育費総額	87.9	91.4	91.9	112.9
A 消費的支出	87.4	92.0	93.8	102.1
1 教授費	91.1	94.5	97.2	106.2
a 本務教員の給与費	91.9	94.6	97.9	109.9
b 兼務教員の給与費	44.4	23.9	531.6	48.7
c 事務職員の給与費	68.9	124.8	96.1	70.2
d 教育補助員の給与費	89.5	110.3	95.8	150.1
e 旅費	89.9	85.0	107.9	87.1
f 教科書給与・貸与費	84.0	83.8	57.1	235.1
g 消耗品費	84.6	82.0	110.5	108.1
h 修学旅行費	60.3	93.8	111.5	84.8
i 特活・学校行事費	83.5	84.0	61.9	74.9
j その他の教授費	86.5	93.8	68.6	76.5
2 維持費	73.0	87.8	97.6	97.4
3 修繕費	74.2	79.4	74.8	75.8
4 補助活動費	52.6	69.2	62.5	77.5
a 衛生費	45.1	57.6	52.8	49.3
b 給食費	53.1	43.1	62.2	81.3
c 奨学費	89.4	95.6	103.7	278.6
d その他の補助活動費	23.6	38.7	20.6	19.6
5 所定支払金	90.6	85.9	83.3	84.0
B 国・私立学校委託費	0	0	0	0
C 資本的支出	86.4	88.3	87.2	211.5
1 土地費	60.9	85.1	96.6	35.6
2 建設費	82.7	85.5	91.6	214.4
3 設備品費	105.0	99.8	91.9	901.9
a 教材用設備・備品費	93.2	88.1	108.4	969.9
b 給食用設備・備品費	177.4	193.1	166.7	62.5
c その他の設備・備品費	89.2	91.0	45.6	140.3
4 図書購入費	101.9	96.6	51.6	54.9
D 債務償還費	89.1	99.1	77.9	0

(註) ○は、学校教育費総額の指数より大きい項目

この表は、昭和38会計年度について一つの時点で横断的に見たものである。時系列にみる資料とあわせ検討すべきであるが、ここでは一時点の資料によった。

全国平均1人当り経費を100とした指数によってみると、小学校では指数のもっとも大きいのが、給食用設備備品費の177.4に対し、もっとも小さいのが、その他の補助活動費の23.6、衛生費の45.1である。体位健康の増進という給食施設設備費と衛生費とのアンバランスが目につく。